

食糧部会「麦の需給に関する見通し」に対する意見

平成24年3月28日

富士 重夫

麦の需給に関する見通しについて、以下のとおり意見を申し上げます。

- 今回の麦の需給見通しに関して、米粉用国内産米の流通量の見通しを初めて盛り込んでいる点について評価をしております。
新たな食料・農業・農村基本計画においては、国内産小麦の生産を180万トン、米粉用米50万トンに増やしていく目標が示されており、こうした目標を着実に実現していくためにも需給見通しに反映させていくことが必要です。
- 基本計画の実現に向けて、生産者にとって増産のインセンティブが働くよう十分な国の支援とあわせて、国内産食糧用小麦および米粉用国内産米の円滑な流通のための需要拡大や流通環境整備に対する支援強化が必要です。
- また、国内産食糧小麦および米粉用国内産米の生産振興をはかり、基本計画を実現していくためには「内麦優先の原則」に基づく国家貿易を前提とした供給管理システムを今後とも維持していくことが必要不可欠です。

以上